

株式会社 GSユアサ

お問い合わせは 広報・IR室

〒601-8520 京都市南区吉祥院西ノ庄猪之馬場町 1 番地

TEL 075-312-1214 FAX 075-312-0493 <https://www.gs-yuasa.com/jp>

2020 年 1 月 30 日

株式会社 GSユアサ

**GSユアサのリチウムイオン電池を用いた導入事例が
令和元年度新エネ大賞において
「資源エネルギー庁長官賞」と「新エネルギー財団会長賞」の2件を共同受賞**

株式会社 GSユアサ（社長：村尾 修、本社：京都市南区）のリチウムイオン電池を用いた導入事例が、一般財団法人 新エネルギー財団主催の令和元年度新エネ大賞において、「資源エネルギー庁長官賞」と「新エネルギー財団会長賞」を自治体や参画企業と共同受賞しました。

【受賞の概要】

1. 資源エネルギー庁長官賞

① 案件名称：

「隠岐ハイブリッドプロジェクト」日本初の最新技術を活用した、
地域一体での再エネ導入拡大

② 共同受賞先：

中国電力株式会社、島根県、三菱電機株式会社、日本ガイシ株式会社

③ 概要：

電力系統が本土と連系していない隠岐諸島における、再生可能エネルギー（風力、太陽光）の導入拡大を目的として、特性の異なる2種類の蓄電池を組み合わせた「ハイブリッド蓄電システム」を設置することで、電力品質の確保と導入コストの低減を実現する取り組みです。

当社は、ハイブリッド蓄電システムのうち、小容量・高出力のリチウムイオン電池を提供することで、隠岐諸島における再生可能エネルギー導入量を従来の約 2,300kW から約 8,000kW まで短期間で拡大することに貢献しました。

④ 受賞ポイント：

- ・ 電力需要や発電量の変動により電力品質が大きく影響する特徴がある離島において、再生可能エネルギー（風力、太陽光）の出力変動対策として2種類の蓄電池を組み合わせたハイブリッド蓄電池を導入し、隠岐諸島の内燃力発電機と一体的に制御する需給運用を商用の電力系統で実現したこと。
- ・ ハイブリッド蓄電池として、短周期変動対策に適したリチウムイオン電池 (2,000kW) と、長周期変動対策に適した NAS 電池を組み合わせ、導入コストの低減、システム効率の向上、充放電管理の改善が図られていること。
- ・ 日本国内のみならず、海外の離島にまで広く適用できる可能性があること。

2. 新エネルギー財団会長賞

① 案件名称：

短周期出力変動緩和対策を講じた大型蓄電池システムの導入

② 共同受賞先：

株式会社大林組、三菱電機株式会社

③ 概要：

太陽光発電は、天候の変化によって出力が急激に変動するため、電力会社に系統連系する際は、電力の需要と供給のバランスへの影響を低減する必要があります。

本蓄電池システム（リチウムイオン電池：6,748.8kWh、蓄電池用 PCS：10,000kW）は、短周期の出力変動緩和対策を目的に開発し、北海道釧路町トリトウシ原野にある大規模太陽光発電所に導入したものです。当社のリチウムイオン電池は高速充放電制御に的確に応答し、厳しい環境下に耐える製品です。運用開始から現在に至るまで、実データをもとにした性能解析およびシステム改善を行い、より良い蓄電池システムとして安定運転を行っています。

④ 受賞ポイント：

- ・ 電力会社が大規模太陽光発電の系統連系条件として示した技術要件に適合する蓄電池システムを、民間企業3社の連携によって開発し、実際に稼働する大規模太陽光発電に初めて導入したこと。
- ・ 新たに開発した蓄電池システムは、太陽光発電の出力の変化速度を周波数への影響がないように制御することや蓄電池の設備容量を最適化することで、設置コストおよび運用コストを抑えたものであること。
- ・ 民間事業者が商業運転する大規模太陽光発電所への出力変動緩和用途での蓄電池システムの導入については前例がなく、また、得られた知見および技術は、国内外を問わず変動調整能力の課題を抱えるエリアにおいて反映できること。

当社は、地球温暖化に伴う気候変動が社会にとっての重要な課題のひとつであると認識し、今後も当社の蓄電池技術を用いた再生可能エネルギー普及により、社会全体の温室効果ガス排出量の削減に貢献するべく取り組んでまいります。

※新エネ大賞について

一般財団法人 新エネルギー財団主催の新エネ大賞は、新エネルギーの一層の導入促進と普及および啓発を図るため、新エネルギーに係る商品および新エネルギーの導入、あるいは普及啓発活動を広く募集し、そのうち優れたものを表彰するものです。

【写真】

1. 資源エネルギー庁長官賞

① 鳥根県隠岐郡 西ノ島変電所のリチウムイオン電池システム



② エンブレム

新エネ大賞

資源エネルギー庁長官賞



「隠岐ハイブリッドプロジェクト」日本初の最新技術を活用した、地域一体での再エネ導入拡大

2. 新エネルギー財団会長賞

① 北海道釧路町 釧路町トリトウシ原野太陽光発電所のリチウムイオン電池システム



(写真提供：大林組)

② エンブレム

新エネ大賞

新エネルギー財団会長賞



短周期出力変動緩和対策を講じた大型蓄電池システムの導入

3. 1月29日に開催された表彰式の様子（右：GSユアサ 村尾社長、左：沢田常務）



[資源エネルギー庁長官賞受賞案件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 電源システム販売本部 中国営業部
TEL 082-545-7920

[新エネルギー財団会長賞受賞案件に関するお客様からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 産業電池電源事業部 電源システム販売本部 東京第四営業部
TEL 03-5402-5816

[この件に関する報道機関からのお問い合わせ先]

株式会社 GSユアサ 広報・IR室
TEL 075-312-1214